

自治大卒業生の声

自治大学校卒業生（第1部課程第132期）

岩手県庁 内田 康介

編集者注：本稿は、自治大学校における研修の特長などについて、自治大学校の卒業生が記したものです。

1 はじめに

私は、1か月間で集中して行政に関する法制度を学ぶ「基本法制研修A」と、3か月間に渡って政策立案手法や先進的な公共政策を学ぶ「第1部課程」の計4か月の研修を受講しました。

2 基本法制研修Aについて

基本法制研修Aは、憲法、行政法、民法、地方自治制度、地方公務員制度、財政学の6科目を体系的に学ぶ内容となっています。その名の通り基本的な内容について幅広く学びなおすことになるのですが、講師の皆様が豊富な経験や考察を伝えてくださるので、基本には留まらない奥深い内容になっています。例えば、憲法制定の背景や参考となった海外の憲法との比較、行政訴訟になった際の裁判所の審査の視点、我が国全体の財政と他国との比較など教科書を読むだけでは得られない内容に富んだ講義でした。

また、公務員試験を受験した頃には暗記に頼っていたような内容が、当たり前のように理解できていることに気づくなど、これまでの公務員生活における成長を確認する良い機会ともなっています。

3 第1部課程について

第1部課程では、課題発見能力と課題解決に向けた施策を企画・立案する能力を養成するため、政策立案手法や地方自治に係る最新の話題を講義で学ぶとともに、研修

で学んだ知識を活かして取り組む演習を行います。カリキュラムもこのような流れになっており、研修の序盤ではEBPM（証拠に基づく政策立案手法）、データ分析手法、政策形成手法の講義や与えられた課題に対する解決策を検討する演習を行います。中盤以降は自ら設定した課題に対する解決策を立案する政策立案演習が中心になっており、段階的に難易度が上昇するよう構成されています。

講義は基本法制研修とは異なり幅広い分野に渡ります。観光や公共交通施策、農業政策、医療福祉や社会保障、まちづくり、情報化と情報セキュリティ、教育・文化などこれまでの公務員生活で経験したことの無い分野も多いことから、自らの視野を広げることができます。また、各分野に共通する課題として人口減少問題が横たわっていることや、各分野の課題がお互いに絡み合っていることを実感します。課題解決のためには、一つの分野に捉われることなく、複数の分野を俯瞰して眺めることが必要であると気づく良いきっかけとなりました。

演習では研修日程が詰まっていることもあり、速やかに検討結果を取りまとめることが求められます。演習毎にチームに分けられ、課題に取り組むことになるのですが、一人ではとても間に合わない分量であることから、チーム員が役割分担をしつつ、力を合わせて課題に取り組むことが不可欠になっています。

幸い、自治大学校では研修生全員が同じ寮に入り共同生活をすることから、研修の内外を問わず交流があり、時間を経るごとに強いチームワークが発揮できるようにな

ります。全国各地から集まった年齢・経験が様々な研修生が、それぞれの得意分野を組み合わせることで大きな力を発揮して課題に取り組む、この経験は将来チームを引っ張る立場になる際に大きく活きるのではないかと思っており、とても良い収穫であったと感じています。

4 研修成果を活かしていくために

公務員人生の半ばを迎えようとしているタイミングでこのような包括的な研修を受講することができ、地方公務員としての足腰を鍛えることができたと考えております。

今後は、管理監督者としての役割を担うことが求められていくと思いますので、自治大学校で学んだことを振り返りながら、幅広い視野とチーム力向上の意識を習慣付けていきたいと考えています。

5 おわりに

約4か月の長期間、研修に集中して取り組むことができたのは多くの方々のご協力があったからです。自治大学校では多くの出会いがあり、多くの仲間に助けていただきました。

自治大学校のエントランスロビーには「一期一会」と記された額が飾ってあります。自治大学校入校時にはありふれた額に見えていましたが、卒業の時間が近づくにつれてその額は「この時間を大事にするように」と、大きく語りかけてくるようになりました。かけがえのない出会いを得られたことを喜びつつ、その絆を今後も大切にしていきたいと思えます。

また、これまで身近で支えてくれた家族や職場の同僚、地元の仲間の大切さにも改めて気づくことができました。今度は私がお返しに報いる番です。

自治大学校校歌の3番には「進取の教え、研鑽を、胸に刻んで地方自治」と、学

んだことをふるさとにおいて実践していくことが謳われています。地域に貢献していくことがこの研修を通じて支援・協力をくださった多くの方々への感謝の方法と考え、今後も精一杯取り組んでまいります。

